



2023年3月発行
特定非営利活動法人
湘南ふくしネットワークオンブズマン
「成年後見支援センターだより」
編集責任者 相川 裕
〒253-0043 茅ヶ崎市元町5-22
永井ビル3階
電話・FAX 0467-85-6660



<『茅ヶ崎市成年後見支援センター』にリニューアル>

NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマンが茅ヶ崎市の委託を受けて運営していた「成年後見支援センター」は、茅ヶ崎市役所分庁舎内に移転し、「茅ヶ崎市成年後見支援センター」として、茅ヶ崎市が新たに運営をスタートします。NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマンも一員となり、市民の成年後見制度利用に関する相談や、必要な手続きなどのお手伝いをします。

オープン 2023年4月17日月曜日

相談日 月曜日から金曜日、午前9時から午後5時
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

- ◆事前の予約を優先します
- ◆秘密は厳守します
- ◆ご相談は茅ヶ崎市にお住まいのご本人またはご親族の方
- ◆来所が困難な方には相談員が訪問することもできます



【移転先・連絡先】

- ・場所 茅ヶ崎市役所分庁舎 1階
エレベーターホール脇
- ・住所 〒253-8686
神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
- ・電話 0467-81-7230 (直通)
[所管] 地域福祉課

茅ヶ崎市元町にあった成年後見支援センターは2023年4月10日に閉めます。

『地域連携と主な取組』

茅ヶ崎市の地域連携イメージ



本人の権利擁護の課題を解決するように
専門的な支援を行います

本人と成年後見人等に対して、法律・福祉等の専門的知識をもつ専門職や、地域の関係機関とのチームによる支援を行います

主な取組

- ◇ 成年後見制度の広報・啓発
- ◇ 相談受付・アセスメント・支援方法の検討
- ◇ 成年後見制度の利用促進
- ◇ 成年後見人への支援

< 2022年度 成年後見支援センターの相談状況 >

【概要】

成年後見支援センター（以下「当センター」）の2022年度中（2022年4月1日から2023年1月31日）の10か月間の相談状況をご紹介します。

上記2022年度中（10か月間）の相談回数は244回で、相談者の延べ人数277名のうち新規相談者が64名で継続相談人数が76名でした。また、10か月間の開所日数は121日でした。

【特記事項の紹介】

2022年度中の相談内容のうち、市に対する毎月の報告で、相談集計の特記事項となったものを、個人情報保護に配慮してご紹介します。

- ・親族後見人が高齢のため、終了報告について当センターから家裁に連絡し、終了報告の書き方をサポートした。
- ・一旦、申立作業を開始したものの、本人状況や家族会議の結果で、時期尚早と判断されたり、申立作業そのものから専門職に依頼する等、当センターでの申立て支援を途中で終了するケースがあった。
- ・Sネットのオンブズマンより連絡を受けて施設長に本人の状況を確認した。その際、施設内では障がい者の親の高齢化が進み、成年後見制度の利用等、今後のサポートについて課題があるとの話があった。
- ・独居の父親の消費者被害を防ぐために後見申立をしたが、急遽入院、施設入所になり、その心配がなくなったので、家裁に取下げをお願いした。その結果取下げが認められた。
- ・登記事項証明書の請求方法等、任意後見人受任者の支援を行った。
- ・専門職後見人と連絡がとれず、「所属の専門職団体で交替を見つけている」と地域包括から連絡が入った。

- ・独居の高齢女性で将来の不安があり、身元保証をするNPO法人にも関心があったが、自宅訪問して制度を説明した。任意後見制度を利用する事になり、任意後見契約の候補者を専門職団体に依頼し候補者とのマッチングに同席した。結局、遠慮して話さなかった親族に相談して、専門職との任意後見契約はしないことになった。
- ・申立書作成作業が中断されたままになるケースがあった。
- ・8月は、ケース会議が3件あった。
- ・補助類型での本人申立支援中に、住所の移転問題、補助人候補者の依頼、手続き諸費用の市助成等課題があったが、推薦依頼をしていた補助人候補者と本人とのマッチングまで行って審判が下りた。
- ・亡き夫の元後見人より、相続財産の引渡しの為に申立ての進捗状況について確認の連絡があった。
- ・精神、発達障がいの子がいる家庭内のことについての新規相談が1ヶ月で3件あった。
- ・ケアマネジャー自身が後見制度についての知識を得たいこともあり、相談を受けている案件についての相談があった。
- ・元後見人と本人との関係性について、今後の後見活動の検証のために専門職の団体に手紙を出した。
- ・認知症の妻の後見相談の中で、自分が将来不安になった場合の事を考え、任意後見や死後事務等の第三者依頼を検討される方のために、葬儀社での死後事務受諾についての研修を実施した。
- ・相談予約が入っていない時間帯にセンターで、被後見人本人と法人後見担当者との生活費渡しを行った。
- ・18歳になり、成人施設へ移る為に後見人を必要とする障がい者の案件が同じ月に2件あり、いずれも申立人が知的障がいのある家族であり、申立て支援をしていくこととなった。
- ・知人の紹介で、相談者が障がい者で、弟からの嫌がらせ等いろいろな悩みを抱えておられるとの事で、相談に来られた。総合相談担当者も含め面談し、問題の整理を行ったのち、総合相談につなぐこととした。(Y)



出前ミニ講座

<松林公民館>

2023年1月29日(日)13時から松林公民館にて、4月の支援者(福祉職)向け「成年後見制度と意思決定支援」に続き、今回は一般市民を対象にした出前ミニ講座「成年後見制度入門講座&無料個別相談会」を開催しました。参加者は9組11名でそのうち4組5名の方の個別相談を受けました。

Youtube動画によるセンター業務紹介ののち、認知症の方の補助事例のDVD動画で家族の葛藤や後見制度利用の流れを実感して頂いたうえで、費用(手続き・報酬)を含めた法定後見制度と任意後見制度の概要及び制度を利用しない選択肢も含め支援者間の連携と意思決定支援についてパワーポイントで説明しました。その後、質疑応答を行いました。



個別相談では、2組の方がその後の相談につながりました。

また、入門講座に徹した内容構成とし、申立等手続き的な詳細には触れなかったため、満足度のアンケートには「ネット上の説明以外情報がない」との感想もありました。(T)

<湘南ふくしネットワークオンブズマン成年後見支援センターの歩み>

NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマンでは、オンブズマン活動や法人後見活動など権利擁護活動をおこなってきた中で、判断能力が不十分な人のためには本人の立場に立ち、自己決定を支援するような成年後見制度の利用につながる市民による相談窓口が必要であることが見えてきました。

そこで、茅ヶ崎市の市民提案型協働推進事業に手を挙げました。2008年4月より、権利をまもるための一つの手段としての成年後見制度の啓発、広報、相談、支援をおこなう「市民による市民のための成年後見支援センター事業」が始まりました。そのモットーは「敷居は低く間口を広く」でした。

成年後見支援センターは3年間の市民提案型協働推進事業を経て、茅ヶ崎市委託事業として継続して12年間、新型コロナの緊急事態宣言の時も、感染対策をおこないながら、休むことなく週3日(月、水、金)10時から17時まで市民の皆さまのために、開所しました。

この15年間で面談、電話、訪問などによる1400件以上のご相談を受け、行政、地域包括支援センター、相談支援事業所、専門職団体とも連携しながら、支援をおこなってきました。その間、センタースタッフは守秘義務を守り、研修等にも参加してブラッシュアップに努めました。

広報、啓発のために、公民館講座参加者、民生委員児童委員、市民団体のメンバー、障がい者親の会の会員、施設職員などに向けて、出前ミニ講座や講演会なども開催しました。また、先駆的な例として国内の様々な団体からの訪問を受け、市民による相談窓口のありようを説明いたしました。

2023年4月からは「茅ヶ崎市成年後見支援センター」と名称も新たに茅ヶ崎市の運営で市役所内にオープンします。私たち湘南ふくしネットワークオンブズマンのスタッフも今までの実績と経験と想い(WISH)を生かして、相談業務に携わっていきます。(C)

<最終号のご挨拶>

NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン 理事長 相川 裕

Sネットは、その人らしい生活を支えるためには地域でのネットワークが必要であることを痛感し、「市民による市民のための成年後見支援センター事業」に取り組んできました。その過程で分かったことは、隣人性と機動性を兼ね備えた「市民」が専門職と協働しつつ組織的に権利擁護のための相談支援活動に携わることの強みでした。この活動は、市民の「共生」の実践に根ざし「共生」を希求する活動でもあったと感じます(ここでの「共生」は「自他が融合する『共同体』への回帰願望ではなく、他者たる存在との対立緊張を引き受けつつ、そこから豊かな関係性を創出しようとする営為」(井上達夫)というイメージです)。市の委託事業としての「成年後見支援センター」の活動終了に伴い「WISH」は最終号となりますが、新たにスタートする「茅ヶ崎市成年後見支援センター」においても、相談支援活動を通じて市民相互の豊かな関係性が創られ、その中で一人ひとりの希望(WISH)が叶えられることを願ってやみません。

編集後記

- 一人ひとりのWISHを大切に! (C)
- センターも「中核機関」の仲間入り (Y)
- 新事務所で後見支援も更に充実 (H)
- 今後も、お気軽にご利用ください。 (S)
- 支援を受けて自分らしい生活を大切に! (M)
- WISH!は廃刊でも、支援は永遠 (T)
- 相談者の声をしっかり聴きます (I)

特定非営利活動法人
湘南ふくしネットワークオンブズマン

成年後見支援センター

住所:茅ヶ崎市元町5-22 永井ビル3階
電話・FAX 0467-85-6660
月・水・金の10:00~17:00(祝祭日はお休み)
相談料無料・個人情報必ず守ります・要予約